

夢への第一歩

川久保美優

ひよんなことからサポーターという、ラジオ
オートのお手伝いをする事になった。何故この
ような形でお手伝いすることを希望したのか
私がラジオと出会ったのは、まだ右も左も分
からない小学生の頃だった。毎朝聴いていた
ラジオ。流れてくる音楽によって自分を元氣
付けてくれるような、何だか勇気を貰えるよ
うな、そういう存在になっていた。
そして何とんでもそれぞれの個性が溢れ
出ている陣。会ったこともない、自分の目
の前に存在するわけもない、そんな人が私達
リスナーに元氣を与えてくれる。私もいつか
そんな人になりたいと思いはじめたのがキツカ
ケでラジオを指すことになった。
しかしまずは基礎知識や発声練習を学ばな
いと。そしてラジオ局に携わり様々な経験と
知識を得ないと。

そして私がここにいるエフエム宝塚。毎週
木曜日、とても充実した日々を送っている。
今から新たなスタートが待っている。夢と
希望を持ち続けながら前に前にと進む30歳
ラジオは私の人生の始まりでもあり、終わ
りでもあるようにと願う日々だ。